



校訓『不惜精進』

教育目標『自主・勤勉・共生』

令和3年1月30日第 15 号

練馬区立練馬中学校

発行：校長 日下石直美

練馬中だより

《 One Step Forward (一歩前へ!) 》



R1 練馬中学校防災標語『どんな時も 人が優先 大事な命』

校内作品展にお越しいただき、ありがとうございました。

【6組 節分会】



思い思いの鬼のお面を付け、鬼の気分を味わい、「鬼は外」「福は内」と恥ずかしがりながら、豆を投げていました。私が小学生のころは、イワシを焼き、頭の部分をヒイラギにくくり、玄関につるして、鬼の侵入を防ぎ、家からは、炒った豆を外に投げつけ、鬼を退散させ、福を招くのが、家の恒例行事だったのですが。最近では、ご近所迷惑なのか、めっきり見聞きしなくなりました。

☆立春大吉☆



節分は季節を分けるという意味から、本来は立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。しかし現在は、立春の前日を主に節分と呼んでいます。立春は、二十四節気の一つで、旧暦では一年の始まりとされていた日です。



今年の節分は、2月3日が「立春」なので、その前日、つまり2日になります。これは、1987（明治30）年以來124年ぶりだそうです。なぜ、ずれるのか？地球が太陽を1周する時間は、365日ぴったりでなく、6時間弱長い。そのため、毎年少しずつ地球の位置がずれていき、立春も2月4日になったり、3日になったりするのです。来年の節分は、3日だそうです。

(R3.1.30 朝日新聞朝刊より抜粋)

「立春大吉」という言葉は、お札に縦に書かれます。この四文字の真ん中に線を引いたイメージをすると、四文字すべてが左右対称になり、裏から見ても表から見ても「立春大吉」と読むことができます。このお札が玄関などに貼ってあると、鬼が家に入ってから振り返っても同じように「立春大吉」と書かれたお札が見えるため、鬼はこの家にはまだ入っていない！と勘違いをして逆戻りしてしまう。つまり、鬼が入ってこない⇒一年を平穩無事に過ごすことができるという意味で、厄除けとして「立春大吉」という言葉が使われるようになったそうです。(引用・参照：豆知識 PRESS・なにそれ倶楽部)

3年生は、「冬来たりなば春遠からじ」です。(イギリスの詩人シェリーの「西風に寄せる歌」の一節「If winter comes, can spring be far behind?」に基づく：故事ことわざ辞典より) 受験シーズン真っ只中ですが、体調に留意して日々の努力を続けて下さい。

校長 日下石直美